・２　地理歴史・公民

学校番号	T1208

令和2年度　　地理歴史科

教科	地理歴史科	科目	日本史Ａ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	現代の日本史　（山川出版）						
副教材等	標準高等地図　（帝国書院）						

１ 担当者からのメッセージ（学習方法等）

・日本が現代に至るまでどのような歴史を歩んできたのかを学習します。

・歴史的な事象(できごと)には因果関係があります。「なぜ？」という気持ちを大切にして授業に臨みましょう。

・細かな人名や法律の名称などを暗記するのではく、歴史の流れを理解することを重視します。

２ 学習の到達目標

・我が国の近現代史の展開を諸資料を活用し、地理的条件や世界の歴史と関連付け、歴史的思考力を培うことができる。
・現代の諸課題を近現代史と結びつけ、歴史的観点から考察することができる。
・国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	我が国の近現代史の展開に対する関心と課題意識を高め，意欲的に学習し，国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとする。	我が国の近現代史の展開から課題を見いだし，国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察し我が国の文化と伝統の特色についての認識を深め， 国際社会の変化を踏まえ公正に判断して， その過程や結果を適切に表現している。	我が国の近現代史の展開に関する諸資料を収集し，有用な情報を適切に選択して，読み取ったり図表などにまとめたりしている。	我が国の近現代史の展開についての基本的な事柄を，国際環境と関連付けて総合的に理解し，その知識を身に付けている。
評価方法	・出席状況 ・ワークシート	・定期考査 ・ワークシート	・定期考査 ・ワークシート	・定期考査 ・ワークシート

上に示す観点に基づいて，学習のまとまりごとに評価し，学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し，評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	私たちの時代と歴史	写真から生活の変化を読み取る	○		○		a:教科書の口絵の写真から日本の社会・生活の変化について関心を持とうとする。 b:教科書本文から明治期の日本と現代の日本の類似点と相違点を考察することができる。 C:教科書の口絵の写真について時代が変わると共にどのようなところが変化しているかを読み取ることができる。 d:近代以降の日本の社会や生活の変化を理解することができる。	・出席状況 ・ﾜｰｸｼｰﾄ ・授業内での発言
		近代の始まりと社会の変化		○		○		
	近代国家の形成と国際関係の推移	開国と維新	○		○		a:近代国家の形成というテーマについて「なぜ」という視点を持ちながら授業に取組もうとできる。 b:幕末に結んだ不平等条約の克服などの近代日本の持つ課題に対し、どのように解決しようとしたかを当時の国際関係を踏まえ考察することができる。 c:近代日本に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 d:近代日本の形成と当時の国際関係の変化について理解し、身に付けている。	・出席状況 ・ﾜｰｸｼｰﾄ ・授業内での発言 ・定期考査
		近代国家の形成と発展		○	○	○		
		第一次世界大戦と大正デモクラシー	○	○				
		第二次世界大戦と日本		○		○		
後期	近代産業の発展と両大戦をめぐる国際情勢	産業化の推進		○	○		a:産業革命によっておこった、社会問題や大衆社会・大衆文化などに関心をもつことができる。 b:経済の発展という点に着目して、国民生活の変化を考察することができる。 c:産業の発展に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 d:産業の発展と国民生活の変化について理解し、身に付けている。	・出席状況 ・ﾜｰｸｼｰﾄ ・授業内での発言 ・定期考査
		国民生活の変化	○			○		
	近代の追及	近代の追究	○	○	○		a:移民というテーマから近代の国際関係について関心を持つことができる。 b:テーマについてこれまで学習した内容を踏まえ、歴史的観点から考察を加えることができる。 c:テーマについての諸資料を収集し、まとめることができる。	・出席状況 ・ﾜｰｸｼｰﾄ ・授業内での発言

後期	現代日本の政治と国際社会	占領政策の展開	○		○		a:平和憲法の制定た55年体制などの戦後の日本社会の政治の歩みについて関心を持つことができる。 b:戦後日本に関連する諸政策や国際交流や国際貢献の拡大に着目し、我が国の再出発やその後の政治や対外関係の推移について考察することができる。 c:戦後日本社会に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 d:現代日本の政治と国際社会について理解し、身に付けている。	・出席状況 ・ﾜｰｸｼｰﾄ ・授業内での発言 ・定期考査
		戦後民主主義の定着		○		○		
		独立の回復		○		○		
		55年体制の成立	○		○			
		安保体制化の日本			○	○		
		激動する世界	○	○				
		国内政治の再編成		○		○		
	経済の発展と国民生活の変化	政治・経済の再建		○	○		a:高度経済成長に代表される戦後の経済状況について関心を持つことができる。 b:戦後復活した政党政治とインフレーションの抑制、生産復興の為にとられた経済諸政策を国民生活の状況と関連付けて考察できる。 c:経済の発展に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 d:経済の発展と国民生活の変化について理解し、身に付けている。	・出席状況 ・ﾜｰｸｼｰﾄ ・授業内での発言 ・定期考査
		高度成長の光と影	○			○		
	現代からの探究	アジア・太平洋地域と日本		○		○	a:テロに対する日本政府の姿勢や地球環境問題に対して関心を持つことができる。 b:日本政府の国際協力や環境問題に対しての取組みについて考察することができる。 d:アジア・太平洋地域やその他の国際関係について理解し、身に付けている。	・出席状況 ・ﾜｰｸｼｰﾄ ・授業内での発言
		21世紀の課題	○	○				

※ 表中の観点について　a：関心・意欲・態度　b：思考・判断・表現
c：資料活用の技能　d：知識・理解

※ 原則として一つの単元（教材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。